



Research Institute for Humanity and Nature



ごあいさつ



地球研（総合地球環境学研究所）は、いわゆる地球環境問題は人間の文化の問題であるとの視点から、人間と自然との相互作用のあり方を根本から捉え直そうとしています。人間生活の豊かさが増すにつれて深刻になってきている環境問題を、地球規模で総合的に研究し、未来可能性のある社会を構築するのに寄与することを目的としています。研究プロジェクト方式を特色とする地球研は、設立以来6年、最初のサイクルのプロジェクトはすべて出揃いました。これからは、プロジェクトの継続と共に、個々のプロジェクトの成果を元に、研究所の目的を踏まえた、地球環境学の発信に努めます。

平成19年4月

総合地球環境学研究所 所長 立本 成文



特色

1. 総合性: 自然科学、人文社会科学、工学、農学、医学などの異なる分野が一堂に会した総合的なアプローチをします。
2. 国際性: 国外の研究機関とも強力な連携をはかり招へい外国人研究員を構成員にくわえた研究体制をとっていきます。
3. 流動性: 「研究プロジェクト方式」に対応して、できるだけ流動性の高い研究組織にしています。
4. 中枢性: 全国の関連研究機関や研究者の協力を得ながら、専任職員が中心となって研究プロジェクトを企画・実施しています。

地球研で2007年度に進行するプロジェクト

地球研の研究プロジェクトは、「インキュベーション研究」によって企画され、まず1年程度の「予備研究」の対象となります。その後、予備研究の結果が評価を受け、適当と認められれば、「プレリサーチ」を経て、「本研究」へと進み、5年程度の研究が行われます。

本研究5年目：近年の黄河の急激な水循環変化とその意味するもの（プロジェクトリーダー：福義宏）

本研究5年目：持続的森林利用オプションの評価と将来像（プロジェクトリーダー：市川昌広）

本研究5年目：アジア・熱帯モンスーン地域における地域生態史の統合的研究：1945-2005（プロジェクトリーダー：秋道智彌）

本研究4年目：亜熱帯島嶼における自然環境と人間社会システムの相互作用（プロジェクトリーダー：高相徳志郎）

本研究4年目：流域環境の質と環境意識の関係解明—土地・水資源利用に伴う環境変化を契機として—（プロジェクトリーダー：吉岡崇仁）

本研究3年目：北東アジアの人間活動が北太平洋の生物生産に与える影響評価（プロジェクトリーダー：白岩孝行）

本研究2年目：都市の地下環境に残る人間活動の影響（プロジェクトリーダー：谷口真人）

本研究2年目：農業が環境を破壊するとき—ユーラシア農耕史と環境—（プロジェクトリーダー：佐藤洋一郎）

本研究2年目：日本列島における人間—自然相互関係の歴史的・文化的検討（プロジェクトリーダー：湯本貴和）

本研究1年目：社会・生態システムの脆弱性とレジリエンス（プロジェクトリーダー：梅津千恵子）

本研究1年目：環境変化とインダス文明（プロジェクトリーダー：長田俊樹）

本研究1年目：東アジア内海の新石器化と現代化：景観の形成史（プロジェクトリーダー：内山純蔵）

本研究1年目：民族／国家の交錯と生業変化を軸とした環境史の解明—中央ユーラシア半乾燥域の変遷（プロジェクトリーダー：窪田順平）

本研究1年目：病原生物と人間の相互作用環（プロジェクトリーダー：川端善一郎）

本研究プレリサーチ：人の生老病死と高所環境—3大「高地文明」における医学生理・生態・文化的適応（プロジェクトリーダー：奥宮清人）

本研究プレリサーチ：熱帯アジア・オセアニアにおける環境変化と感染症の興亡（プロジェクトリーダー：門司和彦）

本研究プレリサーチ：人間活動下の生態系ネットワークの崩壊と再生（プロジェクトリーダー：山村則男）

予備研究：東アジアの人間活動が気候環境に与える影響の解明と環境協調可能性の探究（リーダー：鄭躍軍）

予備研究：伝統的農法の検証にもとづく未来型農業の提言（リーダー：佐藤雅志）

予備研究：移動と滞留、そして、都市の未来可能性（リーダー：村松伸）

予備研究：カスピ海流域における産業活動、環境政策の変遷と生態系への影響（リーダー：北澤大輔）

予備研究：「人間の安全保障」としての子どもの未来可能性—アジアの環境問題と子ども—（リーダー：山内太郎）

予備研究：アラブ社会におけるサブシステム生態系の研究—生活基盤回復のために—（リーダー：縄田浩志）

研究推進センター

研究推進センターでは、地球研の基本理念に基づいて、既存の学問分野の枠組みを超えた新たな視点を見出すための基盤作りをしており、「地球環境学」を推進するための研究と、社会への発信を進めています。（センター長＝斎藤清明）



施設

人間という存在と自然の複雑な関係の解明を目指して、いわゆる理系・文系などといった分野を超えた真に総合的な学問の基盤形成を目指しています。複数のプロジェクトが、大空間に雑居するような雰囲気の中で、いつでも、そして誰とでも会話が始められるように工夫されています。いわば、「知的回遊」のための回廊の組み合わせです。



管理部事務室

ワンフロアに所長室、管理部長室のほか、事務室(総務課(企画室)、財務課、研究協力課(研究支援室))が集中配置されています。



セミナー室

可動式間仕切りで少人数のセミナーから最大150名規模のセミナーが開催できます。



研究棟2階



講演室

約100人収容できます。可動舞台、同時通訳ブースがあります。



図書室

図書・文献のほか、プロジェクトの成果および研究資料の収蔵を行います。



研究棟1階



**プロジェクト研究室ゾーン
研究推進センター室**

本館1階は15のプロジェクトと研究推進センターが入る大きなゾーンです。オープンスペースのため、自由に往来し、気軽に議論することができます。



研究棟地階



実験室

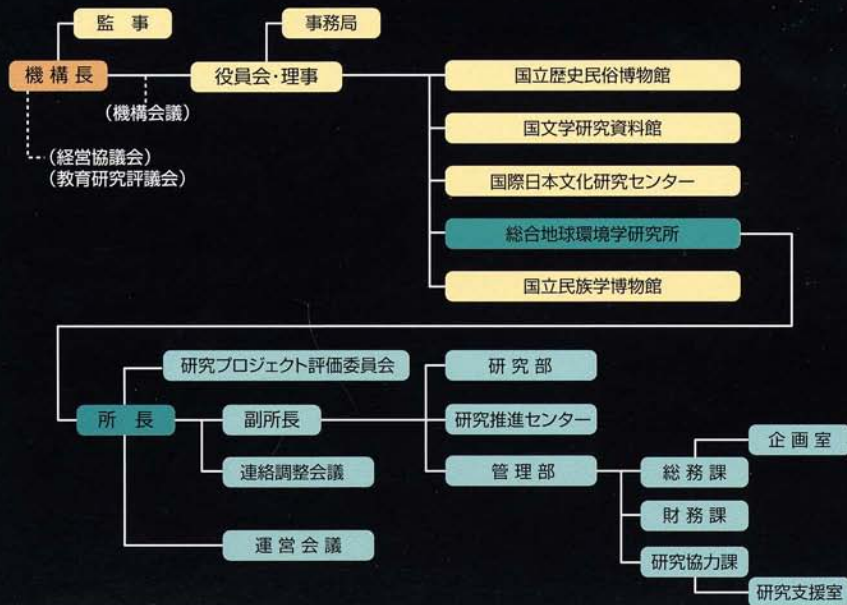
質料分析室、クリーンルーム、安定同位体分析室、DNA分析室、化学分析室、多目的実験室、冷凍室などがあります。



地球研ハウス

国内外の研究者の短期宿泊、長期滞在が可能です。ゲストと地球研スタッフの交流の場が設けられています。





主なイベント

地球研フォーラム

「地球環境問題としての『食』」
2007(平成19)年7月7日(土)
於:国立京都国際会館 Room A

地球研市民セミナー 年8回開催

地球研第2回国際シンポジウム

「緑のアジア:過去・現在・未来」
2007(平成19)年10月 29日(月)~31日(水)
於:ばるるプラザ京都

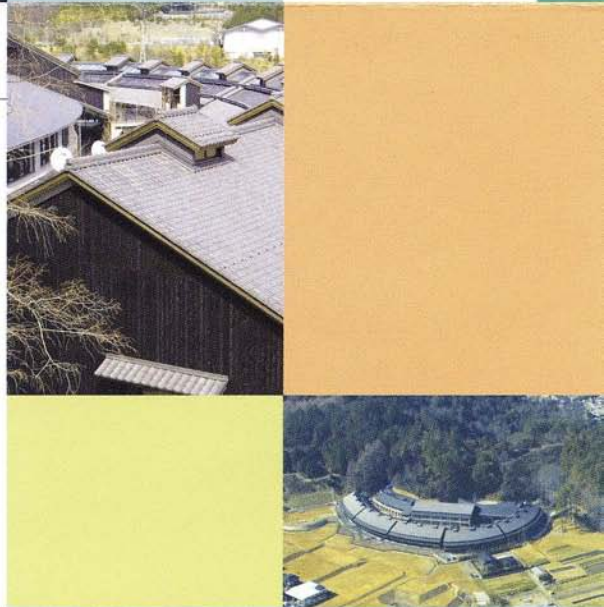
総合地球環境学研究所

ACCESS MAP

交通案内

叡山電鉄鞍馬線「京都精華大前」または「二軒茶屋」下車、徒歩10分。

地下鉄「国際会館」下車、京都バス40系統「京都産業大学經由市原ゆき」、または50系統「市原ゆき」に乗車し、「地球研前」下車すぐ。



〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
TEL/代表075-707-2100
FAX/代表075-707-2106
ホームページ <http://www.chikyu.ac.jp>